

# さんむのふるさと散歩

No.2

伊藤左千夫は元治元年

(1864) 8月18日、上

総国武射郡殿台村一八番屋

敷(現在の山武市殿台)に

伊藤良作・なつの末子とし

て生まれました。嶋小学校

(本因寺)・佐瀬春圃の塾

で学び、政治家を志し、明

治法律学校(現在の明治大

学)に進学するも眼病を患

い退学し帰郷。眼病完治後

上京し牛乳屋を東京市本所

茅場町(現在の錦糸町)に

開業し実業家を目指しま

す。

明治33年正岡子規門下

に入り、子規没後アララギ派

の継承者となり、斉藤茂

吉・土屋文明・古泉千樫等

の弟子を育成しました。



生 家



「野菊の墓」初版本

左千夫といえば忘れてならないのが「野菊の墓」です。皆さんも一度は読んだことがあると思います。ホトトギスに発表したのが明治39年(1906)です。今年でちょうど100年目にあたります。いかに永い間読み継がれているかがわかります。舞台は松戸ですが、幼年期を過ごした旧成東で経験した淡い恋を43歳になつた左千夫が切々と書き上げた作品です。

今一度「野菊の墓」を読み、左千夫生家を訪ねてはいかがでしょうか。隣接する資料館には左千夫の遺品・遺墨が展示されています。